

令和元年度 総務部 重点施策の実施結果

達成
状況

- S … 目標を上回る結果となった
- A … 目標通り達成した
- B … 達成したが課題が残っている
- C … 達成できなかった

総 括	<ul style="list-style-type: none"> ・「ICT技術の活用促進」については、「AIチャットボット」や「地図情報システムGIS」の運用を開始しました。随時、改良を加えていきます。 ・「効果的な情報発信」については、「体験型イベント:きくのんと一緒に菊川の宝物を探し出せ」や「ウィキペディアタウン@菊川」等を開催し、元気な菊川市を広く発信することができました。 ・「市役所庁舎東館整備事業」については、令和元年12月18日に事業完了し、令和2年3月2日に供用開始しました。今後、市民の集う場所として、賑わいづくりの研究を進めていきます。 ・「地域公共交通網形成計画の策定」については、地域公共交通会議で協議を進め、令和元年8月に計画書を策定しました。また、令和2年度からのコミュニティバスの運行について、一部デマンド運行の導入を行いました。 ・「協働の指針の周知」については、基本的考え方や市内協働事業等を掲載した「概要版」を作成し、自治会や学校、企業等へ広く周知・啓発を行いました。 ・「職員研修制度の推進」については、目標95研修に対し実績96研修となり、研修回数目標達成できましたが、受講者数については、「台風19号による災害対応」等によりやむを得ず受講を断念した職員がいたため、目標達成には至りませんでした。なお、年度末から「新型コロナウイルス感染拡大防止策」として研修会の中止が発生している状況です。 ・「職員の勤務状況の把握」については、「庶務管理システム」を構築し、令和2年1月から本格運用を開始しました。
-----	---

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
1	ICT技術の活用促進	AIチャットボット（人工知能を活用した自動会話プログラム）の導入により、問い合わせ対応業務の効率化を図ります。また、クラウド型地図情報システムの導入により、庁内での地図情報の共有化を図るとともに市民への地図情報サービス提供を行います。	5月末までにAIチャットボットの運用を開始します。また、令和2年1月末までにクラウド型地図情報システムを導入し、市民への地図情報サービス提供を開始します。	A	AIチャットボットは、4月に実証実験を行い、5月から本格運用を開始しました。令和2年3月末までに2,344人から11,280件の会話があり、返答率は89.6%でした。質問への対応については、必要な事項は都度改善して回答の精度を高めており、今後も市民に身近なチャットボットを目指して随時改良を加えていきます。 地図情報システムは、令和2年1月に各課の所有データを集約した庁内GISの運用を開始しました。また、このシステムを基に地図情報配信サービス「きくのんマップ」を構築し、道路図や用途地域図、公共施設の位置情報などを市ホームページで公開できるようになりました。（令和2年4月23日公開開始）

2	効果的な情報発信	<p>地域資源の魅力発信を図るため、市内を回遊する体験型イベントやウィキペディアタウン（地域情報をインターネット上の百科事典「ウィキペディア」へ掲載すること）を実施します。また、市広報紙をはじめ市ホームページやSNSによる情報発信ツールの活用や報道機関への情報提供などを通じ、市制15周年記念事業などの情報を効果的に発信していきます。</p>	<p>9月末までに体験型イベント及びウィキペディアタウンを実施します。また、マスコミ（テレビ・新聞【静岡・中日】）で取り上げられる件数を450件以上とします。 (平成31年2月末実績352件)</p>	A	<p>7月18日から9月1日までを開催期間として、体験型イベント「きくのんと一緒に菊川の宝物を探し出せ」を実施しました。市内外、県外から224組、751人の参加があり、多くの人に市内の名所に足を運んでいただき、菊川市の良さを実感していただくことができました。また、8月18日には「ウィキペディアタウン@菊川」を菊川文庫で開催しました。14人が参加し、菊川文庫と埋蔵文化財センターのウィキペディアを掲載することができました。 情報発信については、マスコミに対し938件の情報提供を行い、テレビ及び新聞（静岡・中日）で計510回放映・掲載され、元気な菊川市を広く発信することができました。</p>
3	市役所庁舎東館整備事業	<p>整備業務を進め、平成32年の供用開始を目指します。また、庁舎東館周辺の賑わいづくりについての研究を進めます。</p>	<p>12月末までに建築工事を完了させます。</p>	A	<p>庁舎東館建設工事においては、平成30年12月に議会の議決を経て、建設工事に着手し、令和元年12月18日に事業を完了し、供用開始は令和2年3月2日にて開館いたしました。 今後、市民の集う場所として、庁舎東館においての賑わいづくり研究を進めます。</p>
4	地域公共交通網形成計画の策定	<p>「地域公共交通網形成計画」の策定を完了させホームページなどに公表し、計画にもとづく平成32年度からの運行準備を進めます。また、公共交通についての理解促進や利用拡大に取り組みます。</p>	<p>11月末までに「地域公共交通網形成計画」を策定し、計画に基づいた事業を進めます。</p>	A	<p>地域公共交通会議において協議を進め、菊川市地域公共交通網形成計画を令和元年8月に策定し、ホームページなどに公表しました。また、令和2年度からのコミュニティバスの運行について、一部の路線において運行コースを見直し、デマンド運行を導入するなどの再編を行いました。</p>
5	「協働の指針」の周知	<p>多様な主体に「協働」について理解をいただくため、「協働の指針」をホームページに掲載するなど、普及、啓発を行います。</p>	<p>8月末までに「協働の指針」概要版を作成し、普及啓発を行います。</p>	A	<p>平成31年3月に策定した「協働の指針」について、より多くの皆さんに知っていただくため、基本的な考え方や、市内協働事例などを掲載した概要版を作成しました。また、完成した概要版は、自治会や学校、企業等に配布するとともに、各行政機関や金融機関等への配架や、イベントで配布する等、周知・啓発を行いました。</p>

6	職員研修制度の推進	研修計画に基づき、3市広域研修や外部派遣研修等を計画的に受講させ、職位や職務に求められるスキルの習得に努めます。	研修受講者数： 95研修・延536人 【内訳】 ◆新規採用職員研修 10研修・延170人 ◆3市広域研修 20研修・延164人 ◆外部派遣研修 65研修・延202人 (平成30年度実績： 102研修・延524人)	B ①市単独研修である「新規採用職員研修」は、対象者全15人が10研修を受講した。このうち一部講座では、新規採用職員以外の職員も参加し、全体で延べ163人が受講した。目標値に対する達成状況は、受講者数ベースで95.9%である。 ②御前崎市・牧之原市と共同実施している「3市広域研修」は、19研修を実施し、延べ154人が受講した。目標値に対する達成状況は、受講者数ベースで93.9%となった。 ③外部派遣研修は、67研修を延べ203人が受講した。目標値に対する達成状況は、受講者数ベースで100.5%となった。 内訳（県市町村振興協会：13研修68人、静岡県：20研修89人、静岡県建設技術監理センター：18研修26人、選抜指名研修などその他研修：16研修20人） ※研修全体の目標値に対する達成状況は以下のとおり。 ①+②+③⇒ 520人(受講実績)／536人(達成目標)=97.01% 96研修(受講実績)／95研修(達成目標)=101.05% コロナウイルスによる研修会の中止、台風19号による災害対応等によりやむを得ず受講を断念した職員がいたため、受講者数が減った。
---	-----------	--	--	---

7	職員の勤務状況の把握	<p>職員の勤怠時間や時間外勤務の状況、休暇取得の状況等を客観的なデータにより把握するため、人事給与システムの改修に併せ、庶務管理メニューを追加・運用を開始します。</p>	<p>8月末までに庶務管理メニューを追加し、全職員への操作説明会を開催し、平成32年1月から本格運用を開始します。</p>	A	<p>(1) 4月から8月の期間で、職員の勤怠時間や時間外勤務の状況、休暇取得の状況等を把握できるようシステム構築業者と打ち合わせを実施し、庶務管理の機能内容を構築した。9月1日より庶務管理メニューを追加し、システムのリリースを開始した。</p> <p>(2) 庶務管理メニューにおいて可能となる出退勤打刻や年次有給休暇、時間外勤務命令申請の操作方法を理解してもらうため、下記の日程で操作説明会を実施した。</p> <p>① 9月18・19日：総務部管理職・主幹係長向け（参加者：16人）</p> <p>② 9月25・27日、10月2日：消防職員向け（参加者：62人）</p> <p>③ 10月3日から10日：その他職員（参加者：300人）</p> <p>(3) 令和2年1月から、正職員の出退勤、時間外勤務申請、休暇申請等を庶務管理システムに全面移行し、本格運用を開始した。</p>
---	------------	--	---	---	--